

知事辞任会見の要約



知事記者会見（3月25日）

（知事発言）

3月23日に国土交通省から合格の検査結果をいただいた、また、航空路誌への搭載も終わり、6月4日の空港開港が確定した。

あとは完全運用にむけて準備を進めていく時期になった。

そこで、地権者の大井さんに障害物件除去の協議に応じていただくため、2月11日の申し入れにあった条件を全面的に受け入れる前提で交渉していくこととした。

今夕、職員に私の意向を大井さんに伝えさせる。完全運用に向けていい返事を待ちたい。

（質疑応答）

Q 任期前に辞職するという意味か？

A そうだ。

Q なぜこのタイミングか？

これまでは、空港開港が確定しておらず、踏み込んだアクションは起こせなかった。

しかし、3月23日に6月4日の空港開港が確定し、完全運用への道筋をつけるための準備に取り掛かるタイミングとなったからだ。

Q いつ決心したのか？また、ボーナスや給与カットで政治的責任のけじめはつけたといていたが、気持ちが変わったのか？

A つい最近だ。ボーナス等のカットは空港開港延期の責任を取ったものである。

意思が変わることもある。

Q 辞表提出の時期は？直ちに出さないのか？

A 大井さんの申し入れは、任期終了前に辞意を明確に示せということなので、本日、辞意を明確にした。

いつ辞表を出すのかは、これから大井さんと協議する中で、決まってくる。

辞表は一度出すと撤回できないし、お互いに理解しあえていないので、すぐには出さない。

協議していく中で、障害物件の除去が確実にになった段階で出すことになると思う。

Q いつごろまでに大井さんとの協議が終了するのか？

A 早ければ早いほどよい。期限は決められないが、私の意向を受け入れてくれれば、そんなに長い時間を要しないと思う。

Q 大井さんと会うのか？

A 今夜、大井さんに意向を伝えるので、会って協議に入れるよう調整する。

Q 知事と大井さんとの共同記者会見はあるのか？

A 相手があることだからなんともいえない。

Q 立ち木除去のための法的手続きをとらない理由は？

A 法的手続きは、解決までに長期間を要する。

そうでない方法（辞意表明による障害物件除去）が選択肢としてあるので、その方法をとることにした。

Q 6月4日の開港に知事として迎えることにこだわりはあるのか？

A この16年間は、空港問題が県政の最重要課題であった。

完成させることが私の使命であって、開港を知事として迎えられなくてもかまわない。

Q 辞意表明の理由は立ち木問題だけか？

A 障害物件の除去以外になにかあるのか？ない。

Q 県民からの申し入れに鉛って辞意を表明することは、今後の行政に禍根を残さないか？

A 前例になるとは思わない。

Q 辞職して、また次の知事選挙に出るつもりはあるのか？

A 法的には可能だ。しかし、出馬して当選しても、任期は7月31日までの残任期しかないもので、あまり意味がないので、そのつもりはない。

Q 引退後の身の振り方は？政界を完全に引退するのか？

A 一県民として生活する。具体的にはイメージがわいてこない。

Q 後継者について考えはあるか？また、どんな知事がよいと考えるか？

A 考えを述べる立場にない。県民が判断すべきものだ。